

NY マーケットレポート (2017年1月12日)

NY 市場では、序盤のドル円・クロス円は堅調な動きで始まったものの、欧米の株価下落や、米債券利回りの低下を背景に、円買いが優勢となり、軒並み軟調な動きとなった。ただ、午後に入ると大きく下落していた米株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、円が売られる動きとなった。また、米 30 年物国債の入札がさえない内容だったことから、長期債を中心に売りが入り、利回りが上昇したことから、ドル買い・円売りが加速し、ドル円・クロス円は終盤まで堅調な動きとなった。

2017年1月12日 (木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	114.32	115.52	114.19
EUR/JPY	121.51	122.24	121.38
GBP/JPY	140.16	141.02	139.65
AUD/JPY	85.53	85.99	85.38
EUR/USD	1.0630	1.0643	1.0572

LONDON	高値	安値
USD/JPY	114.42	113.76
EUR/JPY	121.86	121.20
GBP/JPY	140.45	139.82
AUD/JPY	85.78	85.40
EUR/USD	1.0685	1.0620

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	114.70	114.78	113.81
EUR/JPY	121.77	121.92	121.36
GBP/JPY	139.58	140.51	138.93
AUD/JPY	85.93	85.96	85.36
NZD/JPY	81.61	81.62	81.14
EUR/USD	1.0617	1.0682	1.0611
AUD/USD	0.7492	0.7518	0.7487

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19891.00	-63.28
S&P500	2270.44	-4.88
NASDAQ	5547.49	-16.16
日経225 (CME)	19170	-170
トロント総合	15418.16	-73.38
ボルサ指数	46060.98	+127.33
ボバスパ指数	63953.93	+1507.67

1/13 経済指標スケジュール

08:50 【日本】12月マネーストックM2
 08:50 【日本】1月対内外証券投資
 11:00 【中国】12月貿易収支(時間不確定)
 14:00 【シンガポール】11月小売売上高
 14:30 【日本】12月企業倒産件数
 16:00 【ドイツ】12月卸売物価指数
 17:30 【スウェーデン】11月個人消費
 22:00 【ポーランド】12月マネーサプライM3
 22:00 【ポーランド】11月経常収支
 22:00 【ポーランド】11月貿易収支
 22:00 【ポーランド】12月消費者物価指数
 22:30 【米国】12月小売売上高
 22:30 【米国】12月生産者物価指数
 23:00 【カナダ】12月中古住宅販売件数
 00:00 【米国】1月ミンガン大学消費者信頼感指数
 00:00 【米国】11月企業在庫

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1199.80	+3.20
NY 原油	53.01	+0.76
CME コーン	358.25	+1.00
CBOT 大豆	1040.25	+28.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.173%	1.181%
3年債	1.450%	1.463%
5年債	1.863%	1.874%
7年債	2.165%	2.172%
10年債	2.359%	2.363%
30年債	2.961%	2.947%

ドイツ10年債	0.316%	0.328%
英国10年債	1.299%	1.347%

1/13 主要会議・講演・その他予定

・フィラデルフィア連銀総裁 講演

NY 市場レポート

22 : 05

◀ 要人発言 ▶

ブラード・セントルイス連銀総裁

- ・「米国への投資が拡大する可能性はある」
- ・「インフレ率は目標未達、辛抱強い姿勢が可能」
- ・「政策変更の経済的影響は 18 年の方が大きい可能性もある」
- ・「ドル上昇、市場は若干先を走っている」

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 24.7 万件 (予想 25.5 万件・前回 23.7 万件)

前回発表の 23.5 万件から 23.7 万件に修正

米失業保険継続受給者数 208.7 万人 (予想 208.7 万人・前回 211.6 万人)

前回発表の 211.2 万人から 211.6 万人に修正



出所 : Bloomberg



出所：Bloomberg

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
17/01/07	247,000	+10,000	256,500	*****	*****
16/12/31	237,000	-30,000	258,250	2,087,000	1.5%
16/12/24	267,000	-8,000	263,500	2,116,000	1.5%
16/12/17	275,000	+21,000	263,750	2,105,000	1.5%
16/12/10	254,000	-4,000	257,750	2,039,000	1.5%
16/12/03	258,000	-10,000	252,500	2,021,000	1.5%
16/11/26	268,000	+17,000	251,500	2,007,000	1.4%
16/11/19	251,000	+18,000	251,000	2,084,000	1.5%
16/11/12	233,000	-21,000	253,000	2,043,000	1.5%
16/11/05	254,000	-12,000	260,000	1,983,000	1.4%

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比+1.0万件的24.7万件と3週ぶりに増加となったが、節目となる30万件は97週連続で下回っている。申請件数の4週移動平均は、前週比-1750件の25万6500件。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-2.9万人の208.7万人となり、5週ぶりに減少となった。受給者数の4週移動平均は、前週比+1万6500人の208万6750人。受給者比率は、前週比横ばいの1.5%だった。

22:30

《 経済指標の結果 》

12月米輸入物価指数（前月比） 0.4%（予想 0.7%・前回 -0.2%）
前回発表の -0.3%から-0.2%に修正

12月米輸入物価指数（前年比） 1.8%（予想 1.8%・前回 0.1%）
前回発表の -0.1%から0.1%に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

《米輸出入物価》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
全輸入	0.4	-0.2	0.4	0.1	-0.2	0.1
石油	7.9	-3.0	7.5	0.9	-4.1	-3.1
除く石油	-0.2	0.0	-0.2	0.1	0.1	0.5
食品・飲料等	-1.4	1.3	-0.7	0.4	1.4	3.1
資本財	-0.2	-0.1	-0.2	0.1	0.0	-0.1
自動車・部品	-0.1	-0.1	0.3	0.1	-0.1	-0.2
消費財	-0.3	-0.3	0.1	0.0	-0.2	-0.1

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
全輸出	0.3	-0.1	0.2	0.3	-0.8	0.2
農業	-0.3	0.6	0.5	-1.1	-3.5	-0.3
非農業	0.4	-0.1	0.2	0.5	-0.6	0.3
食品・飲料等	-0.6	0.7	0.4	-0.8	-3.7	-0.5
資本財	0.0	0.0	-0.1	0.0	-0.1	-0.2
自動車・部品	-0.2	0.0	0.1	0.1	-0.5	0.0
消費財	-1.0	-0.2	-0.5	0.2	-0.2	0.5

12月の米輸入物価指数は、前月比+0.4%となり、2ヵ月ぶりのプラスとなり、前年同月比では+1.8%と2012年3月以来の大きな伸びとなった。前月比では、食品などが下落したものの、石油・石油製品が大幅上昇となったことで、全体を押し上げる結果となった。

①石油・石油製品は、前月比+7.9%、前年同月比では+26.2%。石油以外では、前月比-0.2%、前年同月比では横ばい。品目別では、原油が+11.1%、食品は-1.4%、自動車・同部品は-0.1%。

②輸入元別では、中南米が+2.3%、カナダが+2.3%、EUは-0.2%、日本、中国は横ばいだった。

③輸出物価は、前月比+0.3%、前年同月比では+1.1%と2013年2月以来の上昇幅となった。農産物が-0.3%、前年比では-0.5%、農産物以外の品目は前月比+0.4%、前年同月比では+1.3%。

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

11月カナダ新築住宅価格指数（前月比） 0.2%（予想 0.3%・前回 0.4%）

11月カナダ新築住宅価格指数（前年比） 3.0%（予想 3.1%・前回 3.0%）



出所：Bloomberg

22 : 55

◀ 要人発言 ▶

ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁

- ・「今年3度の小幅利上げ支持を再表明」
- ・「リセッションの確率は高まっていない」
- ・「ゼロ金利は常態ではない、ひずみ生じる」

23 : 05

◀ 要人発言 ▶

ロックハート・アトランタ連銀総裁

- ・「今年2回の利上げを予想、3回派より慎重」

23 : 15

◀ 要人発言 ▶

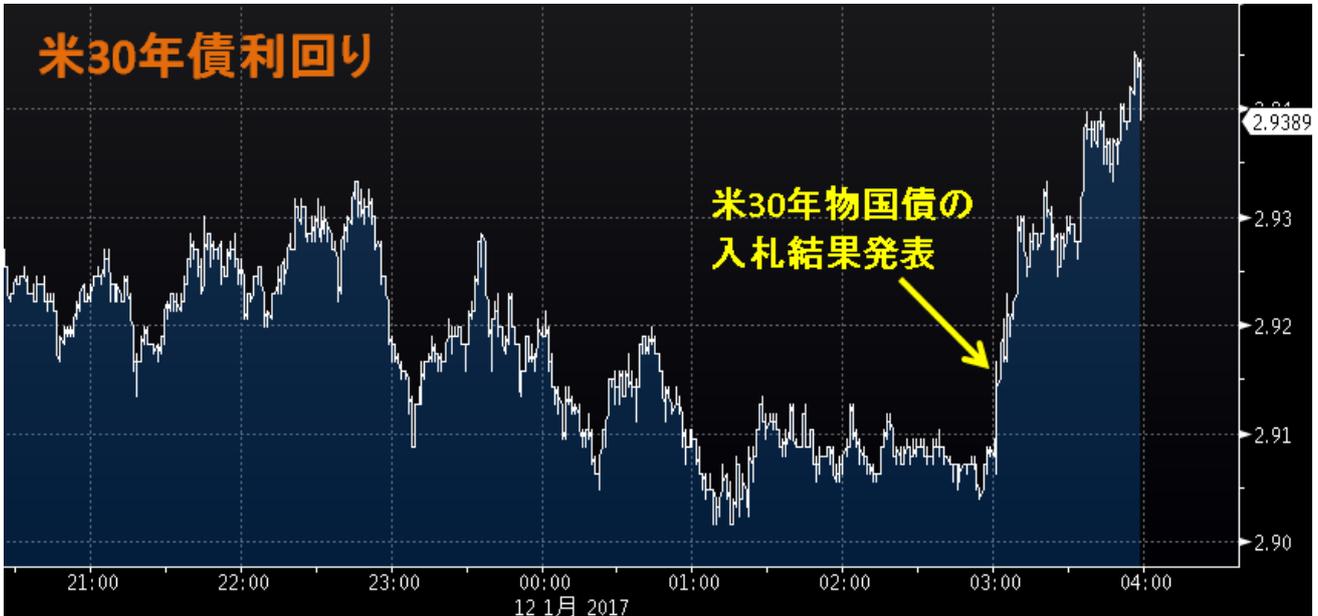
エバンス・シカゴ連銀総裁

- ・「4%成長、構造的変化なしには困難」
- ・「非従来型の政策、中央銀行にとって容易ではない」
- ・「市場は若干調整、選挙後の利回りは急伸」
- ・「今年3回利上げの予想は、実現性がある」
- ・「財政政策は、成長率を年0.2ポイントほど押し上げることが可能」

3:00

《米財務省 30年債入札》

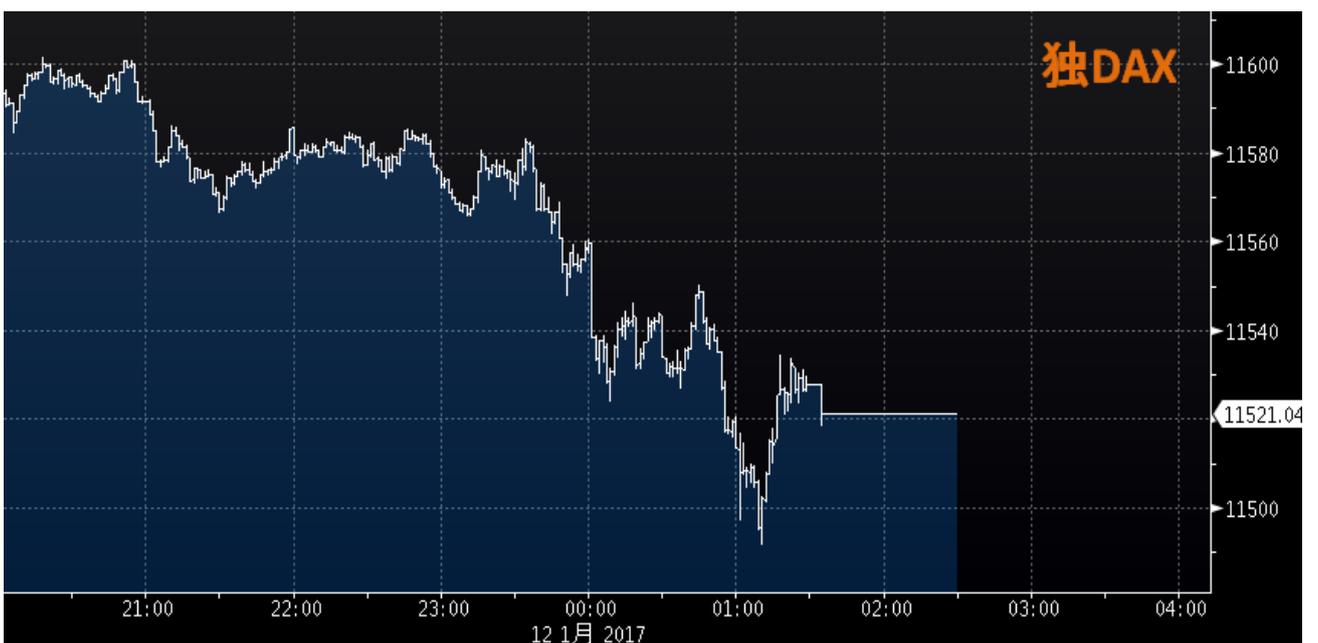
最高落札利回り・・・2.914%（前回 3.152%）
 最低落札利回り・・・22.750%（前回 2.888%）
 最高利回り落札比率・・・47.34%（前回 72.53%）
 応札倍率・・・2.32倍（前回 2.39倍）



出所：Bloomberg

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。独 DAX 指数は、高値警戒感から利益確定の動きが優勢となり、軟調な動きが続いた。一方、英 FT100 指数は、序盤から軟調な動きが続いたものの、終盤に原油価格の上昇などを受けて、エネルギー関連株に買いが入り、小幅続伸となった。これで、終値ベースの最高値を 11 営業日連続更新した。



出所：Bloomberg

4 : 10

◀ 要人発言 ▶

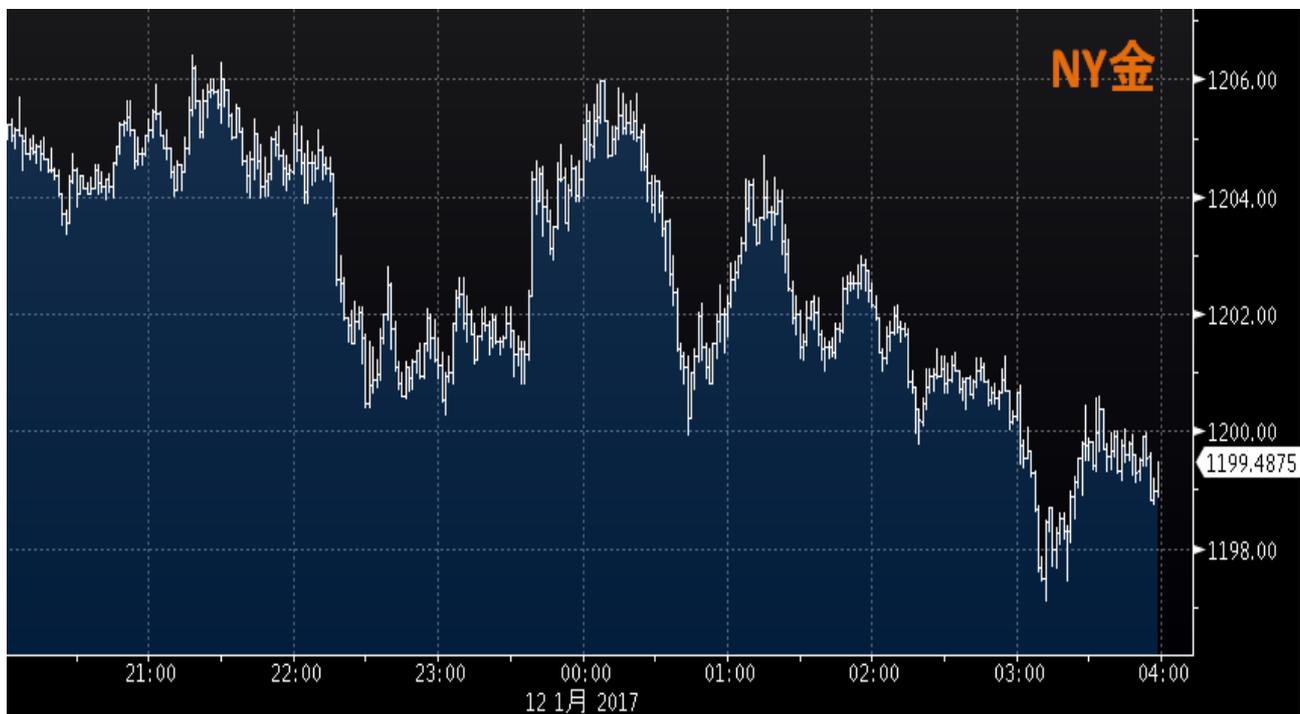
カプラン・ダラス連銀総裁

- ・「今年の米 GDP 成長率は、2%を超える見通し」
- ・「予測には新たな財政刺激策を勧案せず」
- ・「財政政策の検討では赤字の問題を忘れてはならない」
- ・「より強いドル、米国からの輸出に向かい風を吹かせる」
- ・「バランスシートについては、恐らく今年 FOMC で議論する」
- ・「当面の米金融政策は、利上げに焦点絞るべきだ」

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 3.20 ドル高の 1 オンス=1199.80 ドルで取引を終了した。

NY 金は、トランプ次期米大統領が前日の記者会見で具体的な経済政策に言及せず、ドルが主要通貨に対して下落したことから、ドルの代替資産とされる金の買いが続いた。終値ベースでは、昨年 11 月下旬以来、約 1 ヶ月半ぶりの高値水準となった。



出所 : Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.76 ドル高の 1 バレル=53.01 ドルで取引を終了した。

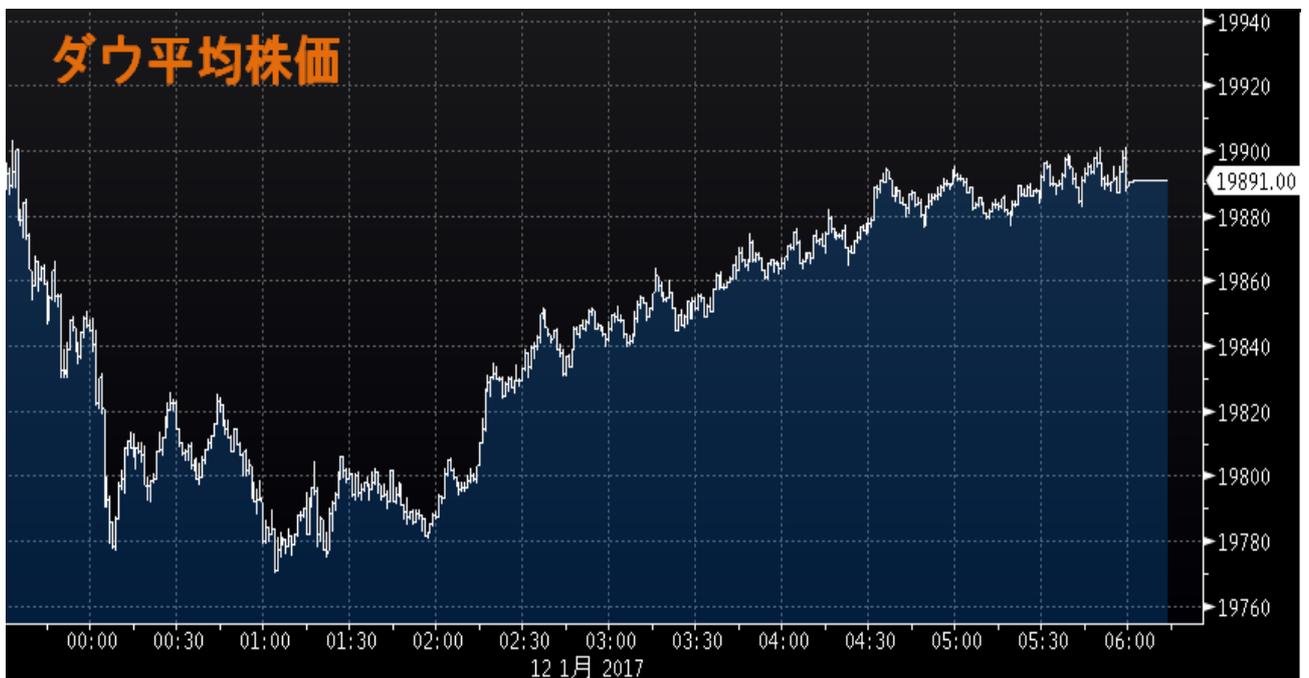
NY 原油は、サウジアラビアのエネルギー産業鉱物資源相が、OPEC による合意を順守し、原油減産を実施していると述べたとの報道を受けて、序盤は堅調な動きとなった。ただ、米国産シェールオイル増産への警戒感も根強く、その後は上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

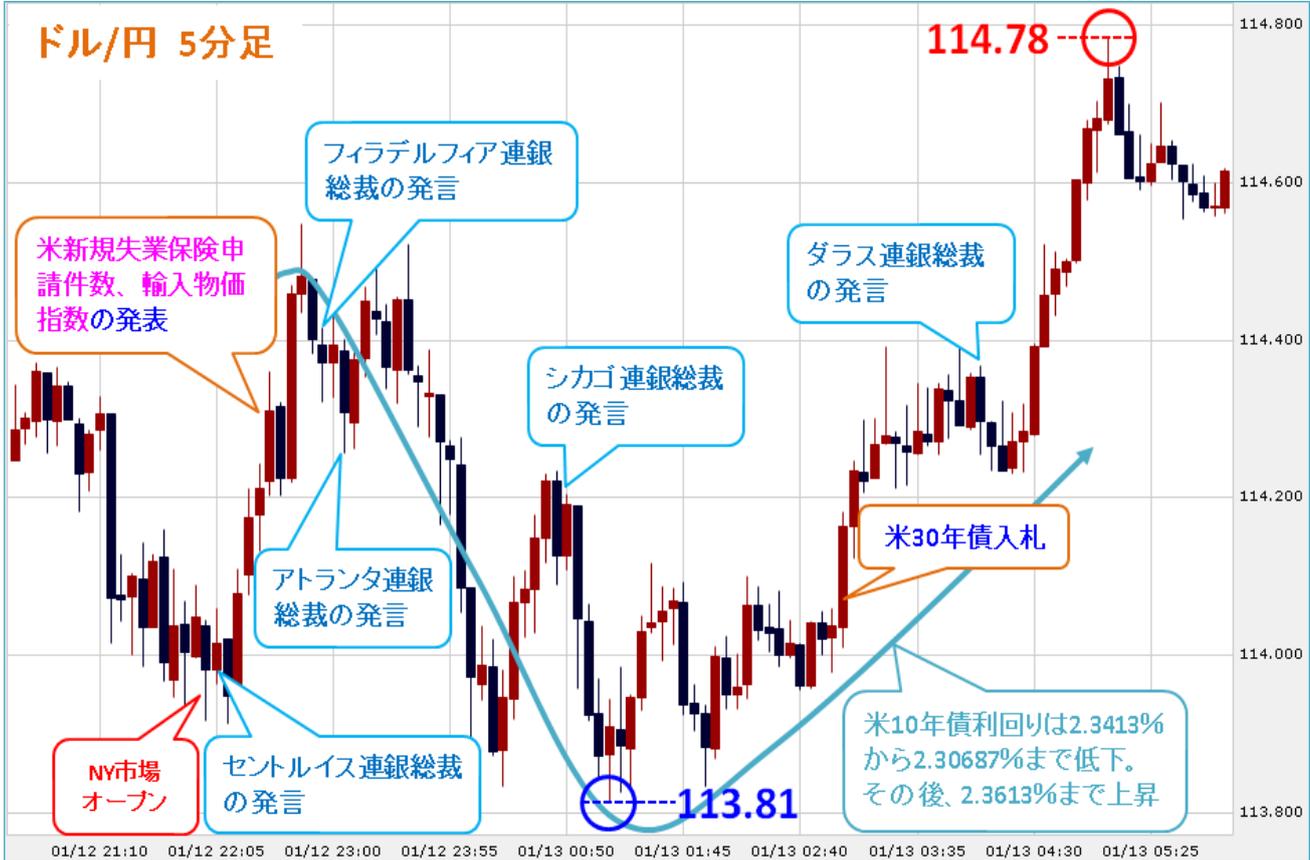
米株式市場は、前日のトランプ次期米大統領の記者会見で、市場が期待する減税やインフラ投資などの経済対策について具体的な言及がなかったことが引き続き材料視され、序盤から軟調な動きとなった。下げが一巡すると、値頃感の買い戻しなどから、下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 183 ドル安まで下落したものの、その後は下げ幅を縮小する動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、欧米の株価が下落したことや、米債券利回りが低下したことを受けて円買い戻しの動きが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ただ、下げ巡後は、株価が下げ幅を縮小する動きとなったことを受けて、円売りとなり、ドル円クロス円は終盤にかけて堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。